

災害時における経営継続計画【作成例】

作成日: 令和●年●月●日
 経営体名: ○○養鶏株式会社

(1) 経営体の概要

代表者氏名	住所	飼養羽数(令和 年 月 日時点)			鶏舎の種類
		採卵鶏	肉用鶏	その他 ()	
○○ ○	○○県○○市○○町○-○				ウインドウレス 2棟

(2) 災害時における経営継続計画

・非常用電源を活用し（令和△年■月整備予定）、災害等により電力の供給が絶たれた場合でも、経営を継続する。なお、非常用電源に用いる燃料の供給が制限される場合も想定し、常に○○時間分の燃料の在庫を保有する。
 ・災害等により飼料及び飲料水の供給が制限された場合、飼料の供給が制限される事態に備え平時から○○日分程度の飼料の在庫を保有する。

(3) 災害時における連絡体制

※災害時に連携すべき外部の組織への連絡体制や、経営体内での災害時の連絡体制、役割分担を記載すること。

(4) 非常用電源の管理利用者の概要

経営体の 構成員数	非常用電源の 管理利用者数	管理利用者
○○人	○人	・○○ ○○ ・○○ ○○

(5) 非常用電源の整備状況及び今後の整備の必要性

(現状:未整備)
 ・停電時に電動換気口等の飼養管理機器が停止し、家畜の生命維持に支障が生じることを防ぐため、現状未整備である非常用電源を2台整備するものである。

(6) 非常用電源の整備計画

想定機種	台数	相数 ・線数	電圧 (V)	出力		設置場所	備考
				(kVA)	(kw)		
○○製 XXX-000	1	三相4線	200	18.0	14.5	A鶏舎機械室	
○○製 XXX-000	1	単相3線	200	3.0	3.0	B鶏舎倉庫	
合計	2						
(参考)現在の非常用電源の整備状況							
○○製 XXX-000	1	三相4線	200	12.0	10.0	A鶏舎倉庫	
合計	1						
総合計	3			33.0	27.5		

※機械納入業者等が作成した、機械選定の根拠となる必要電力量及び容量等の計算に関する資料を添付すること。

(7) 非常用電源の保守点検方法

・○カ月に1度、負荷運転による試験を含めた保守点検を専門業者に行わせる。
 (保守点検の頻度は納入業者等専門業者と十分相談の上設定すること。)